

# 人生、仕事、掃除

栃木県

植木 うえき

政行 まさゆき



1962年7月26歳で商売を創業し、61年になります。

1968年32歳のときに事故で大怪我をしました。幸い後遺症もなく仕事に復帰でき、お礼にと一人で宇都宮駅前の掃除を始めました。転機は1997年5月。鈴木健夫さん、阿部真一さん

ら若い人と出会い、「栃木掃除に学ぶ会」を立ち上げました。

これを契機に、宇都宮駅前清掃は会の活動とし、1997年10月から285回(2022年10月現在)、参加者延べ1万5千人以上。真冬は水が凍りますので、キャストア付き移動湯沸かし器を考案しました。これは山形・山梨掃除に学ぶ会にも寄贈させていただきました。

学校のトイレ掃除は、201回(同行い、「一輪車10〜20台」体育祭に使用できる入退場の柱」などを寄贈いたしました。

また、日光二社一寺世界遺産登録翌年の2000年の長野オリンピック以来、4年に1度「世界遺産日光大会」を開催し、公衆トイレ、職員トイレを掃除させていただいています。全国からの参加者

に、日光東照宮や輪王寺、二荒山神社を心ゆくまで見学してもらうのが楽しみです。

会社でおこなっている「5S」活動には、掃除から得た工夫が多くあります。社会奉仕に熱心だった祖父を見てきたこともあり、学校や病院、公共施設に車いすなどを寄贈させてもらっています。

元氣に掃除ができるのは、家族が良き理解者だからと感謝しています。掃除を通して全国に友人ができ、各地でおいしい食べ物やすてきな風景に出会えることも楽しみでした。

2022年86歳。一緒に各地を回ってみたいと思っていた最愛の妻が、8月23日天国に旅立ちました。81歳でした。

(321-0111)栃木県宇都宮市川田町805-3

# 掃除と出会い、 私も社員も成長できた

宮城県 伊藤 信幸



「自分よりも人を思いやる心を持ち、相手を喜ばせる」

この鍵山秀三郎さんの生き方、考え方を知ったことが、私の人生を大きく変えました。

1975年宮城県大崎市で(株)ホットマンを設立した私は、鍵山秀三郎さんと出逢い、

1984年イエローハット(YH)グループに加盟させていただきました。私は早速トイレ掃除を社員教育に取り入れ、本腰を入れて本社と店舗で毎朝実践しました。

私は当時、会社の将来を考えたときに「このままではいけない」という不安と焦りを感じていました。が、次第に心に余裕ができるようになりました。

そのころ「日本を美しくする会」の田中義人会長と元岡健二さんが来社され、全国に「掃除に学ぶ会」を広めていきたい旨の思いを話され、心が熱くなりました。1996年10月、第1回「宮城掃除に学ぶ会」を県南の岩沼市で開催しました。YH様や取引先様のご支援により、短期間で立ち上げることができました。

以来、コロナ禍を除いて毎年「宮城掃除に学ぶ会」を開催してきました。そこで全国の道友の皆様とのご縁が広がりました。そうしたことから、年に数回各地の「掃除に学ぶ会」に社員と参加するようになっています。

トイレ掃除から、「整理整頓」「目の前のゴミを拾う」「人に迷惑をかけない」などを、指示や命令でなく自主的に考えて行動する社風を育てようとしてきました。

社員の皆さんの「心」と「生き方」が穏やかになってきたように感じます。世の中から人の心の荒みがなくなればと思います。「鍵山掃除道」との出会いにより、私も社員も会社も成長できたと感じています。

(982-0034宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17)

# 掃除は心と身体を ひとつにする

中国

陳曉麗  
ちん ぎょうれい

中国は近年、急激な経済発展を続け、子育てでは道徳心が軽視され、競争に勝つための知識や学歴を重視する社会になってしまいました。その結果、ビジネスで成功した経営者はとても苦しんでいます。

お金儲けには成功しても幸せではなく、戦い続けなければならぬ焦りや、少しのミスで絶望してしまう人も少なくありません。勝つために手段を選ばない人たちもいますが、多くの人にはやはり良心があります。自分の心を磨いて社会の役に立ちたい、と頭

では理解していても、手に入れたお金や便利で贅沢な暮らしを手放すこともできず、苦しんでいるのです。

だから揚州の「掃除道伝習センター」には、中国各地から多くの経営者が参加しています。センターの責任者蓋玉春さんが先頭に立って見本を見せる姿に影響され、少しずつ掃除道の世界に入る人も増えてきています。

コロナ禍で中国からの来日者がなくなつたこの機会に、私も自分自身と向き合うことを始めました。

2021年1月から、大阪にいる日の朝は新大阪の駅前掃除を続けています。その中で気づいたことは、それまでは通訳として掃除道を中国の人に説明するため

に理解しようとしていたことです。自分自身の成長や心磨きは考えていませんでした。

2015年、知人の誘いで東京での掃除に参加したのが掃除道との出会いです。これまで一人で続ける経験がなかった私には、大きなチャレンジが続いています。

やればやるほど新しい発見や気づきや反省がどんどん出てきます。楽しいです。掃除で得た学びが掃除以外の面でも自然に影響しており、自分の中に芯ができて、心を安定させてくれることも実感しています。

鍵山先生との出会いに感謝し、これからも掃除に学んでいきたいと思えます。

(540-0012 大阪府大阪市中央区谷町3-4-5-801)

泰邦(株)

## こどもの感受性に驚愕です

千葉県

鈴木 正一  
すずき しょういち



私たちが印旛掃除に学ぶ会は、2003年本部の指導の下、現職校長4人で立ち上げました。

県内外の先輩や学ぶ会のご支援と世話人や教師仲間を支えられ、年に7〜8回、トータル100回以上の掃除実習を、地域の学校を

お借りして行ないました。

ところが、2020年のコロナに伴う会場校確保の困難があり、この機会に活動を閉じることにいたしました。

私のトイレ掃除のきっかけは、先輩校長に誘われてのしぶしぶの参加でした。ところがそれは、目から鱗の強烈なショックでした。一つの便器をひたすら磨く無私の境地を経て、その後、何とも言い表わせない爽快感・満足感を感じました。

当初は、自分を磨き・高めることが、学校経営に活かせるのではと思って、トイレ掃除をしていましたが、そのうち先生方や子どもにも、ぜひこの充実感や満足感、爽快感を味わってもらいたいと思うようになりました。

特に、教師や子どもが同じ体験をすることにより、互いの信頼関係が深まり一層教育効果が上がると思い、会の設立に至りました。

### 《私の学んだこと》

まず、トイレ掃除は日常の教育活動に生かせると思います。閉会式での感想発表や後日の感想文では、どの子どもも「またやりたい」といい、みな満足しているのです。努力に順位はないと感じます。

次が、人間関係づくりの苦手な子にも有効だということです、便器磨きに没頭し、やればできるという自信が付き、そして爽快感や喜びを感じ、新しい自分を発見します。そこで、教師はおつくうがらず、トイレ掃除の機会をつくるとういと思っています。

## 掃除道の学びと

## お掃除仲間が私の宝物

熊本県

眞田

晴美



私は元教員で、今半日勤務の指導員をしています。コロナ禍が始まったとき、年度末の異動により、学校スタッフと顔を合わせる機会が少なくなりました。先生方は、コロナ対応でやるが増

え、生徒用トイレの掃除もすることになりました。女性の先生方は家庭でもお忙しいです。笑顔が少なくなりました。

私は、徹底的なトイレ掃除をしようと決めました。配管の埃、埃落としの下、入り口の汚れ、便器のしつこい水垢、金属部分、汚物入れの中やふたの裏もしっかり磨きました。「キレイに気づけば、生徒への掃除指導ができるようになったとき、声かけも変わるだろう」と願い、先生への応援メッセージを貼りました。

「トイレが明るい」「メッサージにほっこりする」など、先生方に喜んでいただけたようです。管理職は「いつもありがとうございます」と仰せですが、恐縮しています。今は、先生と生徒で掃除を

頑張っておられます。

私は1996年第1回「奈良掃除に学ぶ会」で掃除に出会い、高野先生の「便教会」で学び、2014年熊本イエローハットで鍵山相談役にお会いしたのがご縁で、「熊本便教会」立ち上げに関わらせていただきました。

今も、勤務先でトイレ掃除、掃き掃除、歩きながらのゴミ拾いを続けています。つくづく嬉しいのは、一人でもできることを続けられることです。

まもなく学校現場を離れますが、鍵山相談役様から賜った長年のご縁と貴重な教え、心あるお掃除仲間とのご縁は私一生の宝物です。感謝の毎日です。

(865-0015 熊本県玉名市亀中16-1-707)

子どもと

## トイレ掃除をする喜び

石川県

別所<sup>べっしよ</sup>

正敏<sup>まさとし</sup>



かが能美掃除に学ぶ会に参加して約14年。山口健次現代表とは、当時同じ九谷焼卸業を営み、またモラロジードともに学んだ仲間でした。山口さんが駅などの公共

トイレを掃除する活動を始めた  
と聞いて、「良いことなので、私も  
誘ってください」と伝えたのが始  
まりでした。

早朝5時、当時の代表や仲間  
紹介され、眠けまなこで見たい  
ものは、私の想像をはるかに超えて  
いました。古い型の便器に、蜘蛛の  
巣だらけの窓天井。ここを？ し  
かも素手で？ 水漉しまで外  
して？ などなど、退いてしまいま  
した。何が何やらわからずやっ  
ていると、あっという間に2時間が  
過ぎました。

次は遠慮しようかと思っていま  
したが、どういうわけかほとんど  
参加いたしました。そんなとき、  
小冊子(株タニサケ発行)にあっ  
た「下座行」という言葉を見つけ、  
はらに落ちました。

鍵山先生のカレンダーの「唱道  
の人多けれど行道の人少なし」。  
ひたすら心を低くして便器を磨  
く行為は、理屈ではなく行道なの  
だ…心磨きなのだ…。

その後、山口代表の学校掃除  
を中心にする方針のもと、子ども  
たちと一緒に掃除するようになって、  
喜びが強くなりました。子ども  
もたちはとても素直に取り組ん  
でくれます。

学校は先生の異動や理解度の  
違いで難しいこともあります。が、  
子どもたちにはいつも、「この体  
験は今後の人生に必ず役に立つ  
よ！」と話します。今は何でも手  
に入る時代、私たちは、子どもた  
ちに何を残してやれるかが問わ  
れていると思います。

## 微差大差

東京都

波多野

勝彦



いま、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、さまざまな活動が制限されています。「東京2020オリンピック・パラリンピック」は無観客での開催となり、私たちの掃除活動も学校を会場にできなくなり、街頭清掃も人数を制限しての活動になっています。

そうした中、「少人数であっても続けてください」との鍵山相談役の声掛けもあり、知恵を出し合って活動を続けています。

一例は、2020年5月30日「ごみゼロ運動」での、web会議ツール「ZOOM」を使った初のオンライン掃除です。

オンラインで互いの笑顔を確認し、その後各自の掃除をします。私は、初めて素手でトイレを掃除したときの興奮が蘇り、「どんな困難でも受け入れてやるぞー」という心持ちになりました。参加者からは「久しぶりに会えて元気がなった。一人じゃないと感じた」との声もきかれました。

一つひとつの活動は小さくとも、「微差」を積み上げることで「大差」となる。20年前に掃除と

出会って以来、「微差大差」は私の人生の指針になっています。

毎朝、便器を磨き、床を雑巾がけし、トイレトペーパーを三角折りにして、お香を焚く。たったの5分ですが、20年続けると600時間にもなります。その上、トイレは気持ちのよい空間になります。何より私自身が毎朝ご機嫌になり、良い1日のスタートを切れるのです。

やってもやらなくても良さそうなお、小さなことでも積み重ねれば、大きな成果を得ていました。お読みいただいたあなたも、掃除でなくても、好きなことをできることから始めてみてください。そして結果を気にせずに続けてみてください。

(189-0003東京都東村山市米川町3-16-6-102)

## 次世代に良い世の中を

東京都

北浦きたうら

明雄あきお



2012年、書籍『ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる』を読み、鍵山秀三郎氏の掃除哲学に感銘を受け、東京掃除に学ぶ会の街頭清掃に参加し始めました。

その後、この価値ある活動を広げるべく、私が経営しているお店

のある人形町周辺を、社員と掃除を始めました。現在は、他の店舗のある日本橋、新富町、東雲の地域清掃も行っています。

地域清掃を行う目的の一つは、私を含め社員の心を磨くことです。掃除をして給料が上がるわけではありませんが、「品性」や「道徳心」といったものを身につけることができます。これらはお金を積んでも買えないものです。

会社経営をしていると、不合理なことがたびたび起こります。倫理に違反する者も現れ、店が混乱することもあります。そのようなことがあると、ときに怒りっぽくなり、心が荒んでいきます。掃除には、このような心を穏やかにする効果があると感じています。

現代は、他者に対する親切心や

思いやり、そして人が人として正しく生きるための道徳教育が欠けていると思えてなりません。その結果、「自分さえ良ければ」という考えが蔓延しているように感じるので。

「世の中のこととは誰かがやってくれるだろう」という考えは、大間違いだと思えます。多くの国民が、このような傍観者的立場を取った結果が、今の世の中ではないでしょうか。

このような世の中を、一步でも良くしたいという意志を持って掃除に取り組み続けられれば、鍵山秀三郎氏の願いである「心の荒みのない社会」に、一歩ずつ近づいていくはずですよ。

(103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-27-1

佐々木ビル3F)